

*** 牧師室より ***

「受けるよりも与える祝福」

あけまして、おめでとうございます。2017年もどうぞよろしくお祈りします。

新しい年にいきなり・・・ですが、牧師として歩んでいる中で、「イエスは好きだけど、教会は・・・」という話を時々聞きます。この月報を手にした皆さんの中にも、そのような思いを持っておられる方がいらっしゃるかもしれません。

それに対する教会側の答えも、色々読みます。「イエスと教会は、夫婦にたとえられている、だから、それは、『あなたは好きだけど、あなたの奥さんは嫌い』と言っているようなもので、イエス様に失礼なことなんだよ」とか、「人間の集まりである教会は色々弱さをもっているから、それを受け入れない・・・」とか。本当にそうだなあと感じます。そして、私もそのようにお話をさせていただくこともあります。

でも、今日は違った側面から考えてみようと思います。

「ホントに教会は反省すべきことはないのか？」ということです。

12月にクリスマスをお祝いする中で、イエスがどんな歩みをされたかを思い巡らしていました。クリスマスに生まれたイエスはどんな救い主だったのか、イエスはどのようにして人々の心をつかまえていったのか、それを聖書に探ってみました。その時に見えてきたことは、イエスは「与える」歩みをされた、ということです。自分の力を人々のために注ぎ、自分の命を私たちのために与え、私たちに力を与えてくださっているのです。

振り返って、現代の教会はどうだろうかと考えさせられました。また私自身はどうだろうかと反省させられました。イエスが歩まれたように歩んでいるだろうか？イエスが人々を招かれた方法で、教会は人々を招いているだろうか？自己保身や、自分を満たすこと、自分が豊かになっていくことを求めているだろうか？それによって、人々が集まってくることを求めているだろうか？

しかし、それは、イエスの方法ではありませんでした。イエスは自分を与え、自分を貧しくして歩まれたのです。その中で、人々を招き、人々の心をつかまえていかれました。それなのに教会は正反対のことをしていないか？もしかしたら、「イエスは好きだけど、教会は・・・」と思わせているのは、教会自身なのではないか？そのように問われたのです。

教会は「キリストのからだ」だと聖書は語っています。イエスが天に帰った後に、地上でイエスのように歩み、キリストがどんな方かを示す使命を与えられているのです。神がどんな方かを表す使命を与えられているのです。

イエスはこのように言われました。

「受けるよりは与える方が、さいわいである」(使徒行伝 20:35)

新しい年、私たちはイエスがご自身を人々のために与えられたように、自分を与える歩みをさせていただきたいと思います。神さまが必要な力と情熱を与えてくださいますように。

*** 証し ***

近藤信義

<はじめに>

妻が受洗に導かれたことへの感謝を証させていただきます。



<クリスチャン4世>

私はクリスチャンホームに生まれ、物心ついた時から日曜学校に通っていました。クリスチャンが少ない日本で、友達と違うことに違和感を感じることもありましたが、祖父母が神棚・仏壇に手を合わせるのを見ていたため、異なる神様を信じていても家族は円満に過ごせると信じていました。小学5年生で受洗の恵みに導かれた後も、(思春期特有の?) 寄り道をしたり、(青年特有の?) 万能感に酔ったりと、奥底にしまっておきたい記憶もありますが、神様が人生の伴走者として守ってくれているという安心感を持って、歩んでこられたことに感謝しています。

<結婚、避けたい話題>

妻との結婚に際し、信仰の有無が大きな障害になるとは考えていませんでした。インターネットのおかげでメッセージを聞く時間・場所の自由度は増し、週末は家族の時間(実際には仕事で潰れる日も多くありましたが)として新婚生活を過ごしました。子供が生まれ、母教会に通える距離に転居してからは、子育てに追われる妻のリフレッシュと、教会に行きたい私の希望を叶えるために、子供達と私が日曜日は教会に通うスタイルも確立し、Win-Winの関係が実現できているかのように見えました。

地元のキリスト教系幼稚園に入園し教会学校にも通う息子らの口からは、次第にキリスト教的価値観が出るようになります。そんな息子達を見て安心する私、他方の妻は息子達が知らない考えに染まっていくことに不安を感じたり、疎外感を感じたことと思います。親の信仰と子供の信仰、葬儀やお墓のことなど、宗教にかかわる点での衝突が増えてきました。私はこの状況で妻がクリスチャンになることなど不可能だと決めつけ、祈りの課題はクリスチャンとして模範的な夫になり家族の和を保つことになりました。日常生活は上手くいっていても、信仰に関わる話題では妥協点を見出す

ことが難しくなり、次第に私はその種の話題を避けたい気持ちが強くなりました。

<転機の訪れ>

海外赴任の地がアメリカだったことは家族にとってもサプライズでした。赴任が決まってからはバタバタで、子供の学校、家などの押し寄せる課題を夫婦で協力してこなしてきました。しかし、教会に妻が来てくれることなど夢にも思わなかったため、アメリカに行ってから教会探しは秘密のミッションです。折角だから、ガッチリと現地の人々と交流するのも良いと思い、家探しと並行して英語の教会を探していました。メイウツの教会の存在を知ったのも自宅候補付近の教会をグーグル検索した時で、英語と日本語の教会の違いを見てみようと思う程度の気持ちで訪ねてみました。行ってみると日本で通っていた教会員の縁がある教会であり、また皆さんの暖かい歓迎を受ける内に、私と子供で通おうと決意しました。妻を誘う勇気は持てていなかったのです。アメリカ生活に妻が慣れるまで、日曜日の過ごし方について話すことは避けたいという思いを抱きつつ、引越しのために日本行きフライトに乗り込みました。

息子らの友達作りという大義名分で申し込んでいた Joy Joy Camp が始まります。送迎だけお願いするつもりだった妻がキッチンスタッフを申し出たところから神様のご計画は私に見える形で始まりました。妻は初めて家族・親族と全く繋がりのないクリスチャンに接し、キリスト教に興味を持ち始めてくれました。心地よい雰囲気にながら、家庭集会で出会った人・メッセージの意味を会話することが増え、信仰について会話するときのファイティングポーズは要らなくなりました。

<妻の受洗>

妻の信仰告白は突然訪れます。結婚以来、乗り越えることの出来なかった障壁はいとも簡単に崩されました。喜び踊りたい気持ちよりも、神様が整えて下さった環境の完璧さへの驚きが上回り、「いったい今までの言い争い、そしてこのスピード展開は何なのだろう？」とポカンとしてしまいました。

「神は、神を愛する者たち、すなわちご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事と益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。」(ローマ人への手紙8・28)

私が試練に遭った時、妻と信仰について意見が食い違い途方にくれた時にも励ましてくれた御言葉です。神様を愛する方々の真ん中に我が家移して下さり、妻が受洗に導かれたご計画を目の当たりにし、益々この御言葉への信頼が強められました。

日曜日を何となく妻に対して後ろめたい気持ちで過ごしてきた日から、最も幸せな日に変えて下さったことに感謝します。今後も家族揃って主の下で歩んで参りたいと思います。

*** ジョイ ジョイ クリスマス ***

クリスマスは教会にとって特別な時季です。サンタクロース、ケーキ、プレゼント交換。。。今では、クリスマスと聞くと、こうした言葉を連想する子供たちが大半ですが、クリスマスはイエス・キリストが誕生したとされる日。教会では、本来のクリスマスの意味を知ってもらいたいとの願いを込めて、毎年、子ども向けのクリスマス会を開いています。今年はちよっぴり早めの12月11日、教会ジムにて礼拝の後にクリスマス会をしました。

小学生を中心に約30名のお友だちが集ってくれて、まずは教会の子どもコーラスグループ「ジョイジョイシンガーズ」による歌でオープニング。「♪スペクタラム、ジンガリシャス、・・・たしかにイエスさま お生まれになった」をみんなで輪唱をすると、すっかり気分が楽しくなりました。さらに、教会学校スタッフが仮装して盛り上げてくれた「ビフォー&アフター」(間違いさがしのようなクイズ)や、お父さん方やお母さん方も夢中になった「オセロ de クリスマス」(表と裏で色が違うダンボールをパタパタ裏返して得点を競うゲーム)で場内はヒートアップ。しかし、最後に、とっておきの影絵が上映されると、子どもたちは水を打ったように静まりかえりました。

上映されたのは、聖書に書かれたクリスマス・ストーリー。イエス様が誕生された物語です。イエス様のような方が粗末な家畜小屋で生まれ、飼葉桶で寝かされていた話を子どもたちは真剣な表情で聞きました。お話にとっても興味を示し、質問してくる子もいました。光と影のおりなす幻想的な世界に大人も子どもも釘付けでした。

*** B.I.G.(中高生) クリスマス ***

12月のBIG集会は、待ちに待ったクリスマス会。20名の中高生が集まりました。

今月のご飯作りは、ピザとライスクリスピー。食事担当の高校生が、レシピから材料手配まで、キッチンを仕切ってくれる姿はとっても頼もしい！そして今回は、日本から引っ越してきたばかりの中高生も初参加でしたが、みんなすぐに打ち解けて、笑顔であふれていました。賛美とゲームで、会は盛り上がっていきます。そしてプレゼント交換。それぞれ準備したプレゼントを、ビンゴで勝った人から順に選びます。大きなバッグ、かわいいラッピング。あれもこれも気になって選べない！

プレゼント交換の後は、錦織牧師によるお話。まずみんなに質問です。

「クリスマスと言えば？」

「ツリー」「星」「ケーキ」・・・「プレゼント」 そうですね～、やっぱりクリスマスにプレゼントは欠かせないかな。

では、今までもらったプレゼントの中でうれしかったものは？

中高生達が、それぞれの人生の中でうれしかったプレゼントを一生懸命思い出しました。「コンピューター」「時計」「ゲーム機」・・・。「これが欲しかったんだ！」というものが多かったですね。錦織牧師の中学生・高校生の頃にもらってうれしかったプレゼントのうちの一つは「○○○」(これはヒミツ)！(はい、これはみんなと同じ年の頃の話・・・ということ。) どうしてそれが嬉しかったかというと、自分のことを心にかけてくれたと感じたから。

神様も私たちひとりひとりを心にかけて、素晴らしいプレゼントをくださいました。私たちが罪の中に滅びないようにと、救い主としてイエス様をこの世に送ってくださった。・・・それがクリスマスのできごと。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」ヨハネ3章16節



ピザの焼ける匂いが漂ってきたタイミングで、ご飯の時間。ハワイアン、マルゲリータに変わり種のツナカレーピザ。12枚ものピザがテーブルにずらっと並べられ、みんなのお腹も心も100%満たされました。参加した中高生一人ひとりの心に、イエス様の愛が宿って光り輝きますように。

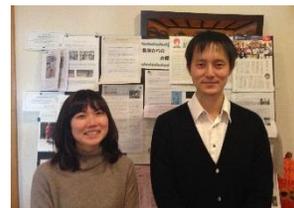
*** お知らせ ***

- ❖ 1月1日(日)通常通り1時30分より元旦礼拝が持たれます。聖歌隊練習・教会学校・祈り会など、礼拝以外の活動はお休みとなりますが、礼拝後には、「お餅で新年を祝う会」が持たれます。ともに礼拝を捧げ、新しい1年の歩みを始めましょう。
- ❖ 2013年から始めました毎日聖書を読んで祈るための「日々のみことば」を、錦織牧師が2017年も続けて執筆します。毎週メールで配信されますので、毎日聖書を読むことは、私たちの力になります。是非ご利用ください。既にご利用の方には自動的に配信されますが、新しくご希望される方は錦織牧師(pastor.jccofnj@gmail.com)にお申し込みください。
- ❖ 錦織牧師は3月14日から29日まで日本を訪問します。これから予定を決めていきますので、集会や面談・訪問を希望される方、ご家族や友人への訪問を希望される方は錦織牧師(pastor.jccofnj@gmail.com)にご相談ください。3-4月号の月報で、集会等の予定をお知らせします。
- ❖ 礼拝のメッセージは英語に同時通訳されております。

- ❖ 日曜日礼拝前の12時45分から、子どもたちのためのThe BRAVE、中高生のためのB.I.G.、英語での成人科バイブルスタディーに加えて、「祈り会」を持っています。礼拝のために、また互いのために祈る集まりです。また、礼拝堂入り口のロビーでは牧師が新しい方々をお迎えしたり、質問のある方や個人的にお話をしたい方々とお話をさせて頂く、自由に立ち寄れるテーブルを持っています。ぜひ、おでかけください。
- ❖ JCCNJでは郵送版に加えて、内容は同じですが、EメールでのPDF版の月報も発行しています。郵送からEメールへの切り替えをご希望される方は、hisho@jccofnj.orgまでご連絡ください。なお、Eメールにご登録頂きました方には、隔月発行の月報に加えて、狭間の月に、Eお知らせをお届けします。
- ❖ 当教会では、みずほ銀行麹町支店(店番号021)に日本円の口座があります。(口座番号は、ニュージャージー日本語キリスト教会一般献金:1085657、ニュージャージー日本語キリスト教会 会堂建築献金:1085665)です。

*** 報告 ***

- ❖ 今年の感謝祭礼拝には、日本より井上薫先生ご夫妻をお迎えしてメッセージ・あかしをしていただきました。また礼拝後の愛餐会や感謝祭当日のディナーでもお話をしていただきました。



- ❖ 11月13日(日)の礼拝で、寸田寛兄・優子姉の転入会式、また11月27日の礼拝で近藤信義兄の転入会式が持たれました。感謝します。

- ❖ 11月27日(日)の礼拝で、大橋徹平兄・近藤令子姉の洗礼式が持たれました。おめでとうございます。
- ❖ 11月27日(日)の礼拝後、2016年第2回教会総会が持たれました。2017-2018年度役員として、岡本理恵子姉・住田祥江姉・浜田郁世姉(次点:澤田姉)が選出され、2017年度会計監査として、三村亨兄とブライト里香姉(次点:野澤姉)が選出されました。また役員会より提案のあった、錦織牧師任期更新、2016年度プラス収支処分案、2017年予算案(一部修正の上)が承認されました。引き続き、教会の来年の歩みのためにお祈り下さい。
- ❖ JCCNJ 教会会堂取得のための積立基金は2016年11月末時点で\$564,021.28、日本円¥90,761です。各地からご献金下さっている皆様に心から感謝申し上げます。



120 East Pleasant Avenue
 Maywood, NJ 07607
 USA

教会: 201-712-9833
 牧師: 201-251-7977
 HP: jccofnj.org
 牧師メール: pastorjccofnj@gmail.com

2017年1・2月号 月報

1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
13:30 元旦礼拝・創立記念礼拝 (錦織師) 礼拝後 お餅で新年を祝う会			10:30 クローキ-教室 (三村宅) 牧師面談日		10:00 Ridgewood 聖書を読む会 (牧師宅) 19:15 マンハッタン オアシス (244 Studios 244 W. 54 Street, 10th floor.)	
8	9	10	11	12	13	14
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 聖餐礼拝(錦織師) 礼拝後 役員会			牧師面談日 (NY)	16:00 JoyJoyキッズ'クラブ' in Maywood		15:30 JoyJoyシンガーズ' (教会)
15	16	17	18	19	20	21
11:45 祈禱会 12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師)			牧師面談日	16:00 JoyJoyキッズ'クラブ' in Leonia	10:00 Ridgewood 聖書を読む会 (未定) 19:00 Friday Night オアシス (牧師館)	15:30 JoyJoyシンガーズ' (教会)
22	23	24	25	26	27	28
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師)			牧師面談日 (NY)			15:30 JoyJoyシンガーズ' (教会)
29	30	31				
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師) 礼拝後 教会総会						

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			牧師面談日		10:00 Ridgewood 聖書を読む会 (未定) 19:15 マンハッタン オアシス (244 Studios 244 W. 54 Street, 10th floor.)	15:30 JoyJoyシンガーズ' (教会)
5	6	7	8	9	10	11
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 聖餐礼拝(錦織師)			牧師面談日 (NY)	16:00 JoyJoyキッズ'クラブ' in Maywood		15:30 JoyJoyシンガーズ' (教会)
12	13	14	15	16	17	18
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師) 礼拝後 役員会			10:30 クローキ-教室 (三村宅) 牧師面談日	16:00 JoyJoyキッズ'クラブ' in Leonia	10:00 Ridgewood 聖書を読む会 (未定) 19:00 Friday Night オアシス (牧師館)	15:30 JoyJoyシンガーズ' (教会)
19	20	21	22	23	24	25
11:45 祈禱会 12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師)			牧師面談日 (NY)			15:30 JoyJoyシンガーズ' (教会)
26	27	28				
11:45 聖歌隊練習 12:45 英語バイブル・クラス / The BRAVE 祈り会 13:30 主日礼拝(錦織師)						